

on  
ーション

持続可能な社会に貢献

# スマホLiB向け提案強化

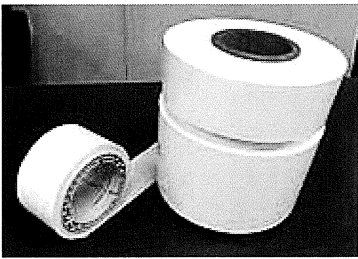
## 薄膜、高耐熱性を訴求

### ダブル・スコープ

リチウムイオン二次電池(LiB)用セパレーター専門メーカーのダブル・スコープ(東京都品川区、崔元根社長)は、スマートフォン用LiBメーカーへの提案活動を強化する。2014年には、日系LiBメーカーへ本格的な供給を開始する予定。安全性を最優先に、薄膜化や耐熱性の向上など、顧客のニーズに対応していく。主力の中国LiBメーカーに次ぎ、日本・韓国メーカーへの採用比率を高めることで、民生用途で存在感を發揮する考えだ。

### 14年 日系メーカーに本格出荷へ

ダブル・スコープは05年が9割を占める。とくに日本に創業、韓国に生産拠点を持つ。生産能力は年1億平方メートル。独自の逐次一軸個別延伸法により、湿式セパレーターを製造している。主要顧客は、中国LiBメーカー(BV)用LiBの低速もあり、スマートフォンを中心とした民生用デジタル家電向けLiBメーカーへの提案を強化している。とくに最大手グループの逐次一軸個別延伸法により湿式セパレーターを製造



独自の逐次一軸個別延伸法により湿式セパレーターを製造

メーカーへの本格出荷を前を皮切りに、日本や韓国に本採用。この本採用。販売実績で世界トップ10入りするLiBメーカーの採用拡大を目指す。

また、製品展開としては、精密な孔コントロールと単層による薄膜化など、湿式セパレーターの特徴を前面に打ち出していく。7/9/12/16/20/25の膜厚で、3つの通気度を持つ製品をラインアップ。薄膜化を要する顧客のニーズに対応するほか、基材となるポリエチレンにコーティングを施した高耐熱製品を訴求する。ダブル・スコープでは今後、スマートフォンを中心とした民生機器用LiBでのシェア拡大を図りながら、さらなる普及拡大が予想されるハイブリッド車(HV)、プラグインハイブリッド車(PHV)向けLiBへの取り組みを強化する方針。現在、主要企業にはサンプル供給済みで、積極的な販売活動を継続中。3〜5年後をめどにHV、PHV用途での本格採用を目指すとともに、日米韓メーカーへの売上比率を50%へと高める考えを示している。

\*\*\*\*\*